

〈学界消息〉

◇日本環境教育学会第6回大会記録

日時 1995年5月13日(土)～14日(日)
場所 千葉県立中央博物館, 千葉県立芸術文化ホール
大会会長 沼田 眞(千葉県立中央博物館)
参加者 391名

記念講演

東京湾岸の残された自然と環境教育

オーバービューア: 沼田 眞

1. 東京湾の環境教育

風呂田利夫(東邦大学理学部)

2. 干潟の環境教育のポテンシャル

ケビン ショート(博物館ライター)

一般講演

5月13日

どこでもできる小規模水田を使ったアイガモ放飼
稲作の保育園での実践

太田弘一(愛知教育大学)

自然から学ぶ環境教育

奥山清子(ノートルダム清心女子大学)

手賀沼を素材にした環境教育の試み

田部俊充(千葉県我孫子市立我孫子第四小学校)

自然体験学習による生徒の意識や行動の変化について

相沢睦(聖学院中学校・高等学校)

帰国子女を含めた中学生における、環境問題認識
度の変化に関する報告その1

赤羽寿夫(東京学芸大学附属大泉中学校教諭)

みんなで調べた!身近な自然(2)～ゴキブリの
学習材としての可能性～

○有馬進一・松本文人(藤沢市生き物調査研究会)

環境教育6目標による実践力の育成—中学校理科
学習を核として—

大谷知二(愛知県津具村立津具中学校)

地方都市の市街地における環境教育の必要性と実践

瀧崎吉伸(豊橋市立羽田中学校)

耳からはじめる環境教育の実践報告「私たちが住
みたい京都の音風景」のコンサートの開催について

○長谷川有機子(スタジオ・マイ・ベース)

エコツアーの試み。オーストラリアでの自然教室
実践

戸田耿介(兵庫県立人と自然の博物館)・松帆
知昭(兵庫県立御影高校)

子どもの土に関する認識について—大阪府下での
調査事例より—

○奥村裕之(大阪教育大学大学院)・植田善太
郎(泉大津市立条東小学校)・谷村載美(大阪
市教育センター)

子どもが写した身近な環境写真—好きな場所、嫌
いな場所の空間—

寺本 潔(愛知教育大学・地理学)

都市域の社寺林を利用した環境学習

○原田智代・青田寛子・鈴木善次(大阪教育大)

キャンプが児童の感性的自然認識、自然環境に対
する態度に及ぼす効果

○渋谷健治(筑波大学大学院)・飯田稔・井村
仁・布目靖則(筑波大学)

地域の河川「荒川」をメインのテーマにした授業
の報告

小泉裕一(東京都立小松川高等学校)

川の環境の調査について(大阪府・大和川水系の一
地域での授業実践)

松本弘(大阪府立狭山高等学校)

高等学校国語科の環境教育教材

亀井浩次(名古屋市立若宮商業高等学校)

岐阜県におけるツキノワグマと住民の関係につ
いて

川崎立夫(中部女子短期大学)

保育における環境教育の可能性について

井上美智子（姫路学院女子短期大学）
 保育者養成課程における環境教育について一幼児
 の環境教育指導に関する具体例一

松永三婦緒（大阪薫英女子短期大学）
 環境教育における目的と目標
 ○和泉良司（横浜市立茅ヶ崎小学校）・石川英
 雄（横浜市立東品濃小学校）・栗田一良（聖セ
 シリア女子短大）

生態系概念育成に関する研究一絵を見て作った文
 章の分析から一

○的場克己・平瀬憲利・鈴木善次（大阪教育大）
 ・谷村載美（大阪市教育センター）

イミテーションへの憧れ＝「サンタクロースって
 いるんでしょうか？」を使用しての環境教育への
 一試案＝

○浅井一美（プレイリーバイブルカレッジ・教
 育）・篠崎恵昭（埼玉大・教育）・西城戸司
 （埼玉大・理）

乾電池に注目した教材作成の試み一環境教育と
 STS教育の関連で一

石川聡子（大阪教育大学）
 小学校における環境教育の教材化Ⅳ一遊びから土
 の学習へ一

植田善太郎（大阪泉大津市立条東小学校）
 子どもたちと地域環境のかかわり方の実態一東京
 ・神奈川での調査から一

有馬進一・和泉良司・○田中敏久（学校教育ネ
 ットワーク・関東支部）

自然的・社会的・文化的環境の一体化による主体
 的環境観の育成（そのⅢ）

一豊かな感性を育てる「あさがおいっぱいになあ
 れ」実践を通して一

中島美恵子（富山県高岡市立西条小学校）
 「行動」をめざした環境教育の試み一小学校4年
 生の実践から一

飯沼慶一（成城学園初等学校）
 イギリス「ナショナルカリキュラムにおける技術」
 の環境教育の内容

○帷子誠（上越教育大学大学院）・山崎貞登
 （上越教育大学）

子供とした吹田市全域におけるツバメ調査の報告

（身近な環境調べパート3）

○下村研司（吹田市立山手小学校）・草野弘靖
 （吹田市立青山台小学校）

大学生の記憶動物名の10年間の変化

○金森正臣（愛知教育大学・生物）・浜井美弥
 （日本モンキーセンター）

大学の演習におけるワークショップの試み

笹谷康之（立命館大学）

環境教育における視聴覚教材の意義一自由連想法
 による意識調査から一

佐藤博樹（北海学園北見短期大学）・○田辺隆
 司（北海学園北見大学）

環境教育におけるコンピューターネットワークの
 利用

原田泰（物質工学工業技術研究所）

生活科学科と環境教育（第2報）一グリーン・コン
 シューマー調査の結果一

○池田勝枝・矢内秋生・古沢広祐（目白学園女
 子短期大学）・栗林敦子（ニッセイ基礎研究所）
 生物部による綾瀬川調査について

柏倉正伸（都立農産高校）

「環境科学Ⅰ、Ⅱ」の取り組み

○岸田光平・宮下和己・田伏政昭（和歌山県立
 向陽高等学校）

富士山学習と環境教育

北川光雄（静岡英和短大）

大学における通常の授業の中での環境教育

○白砂洋志夫・林邦夫・吉田正武・田中大（上
 智大学理学部）・師岡文男・鳥 健（上智大学
 保健体育研究室）

青年の社会参加と「きゃんぱすえころじー」

○川崎敬郎（埼玉大学教養学部卒）・西城戸司
 （埼玉大学理学部）

教育学部における地理教育と環境教育へのかかわ
 り

新見治（香川大学教育学部地理学教室）

樹木名札についての考察（Ⅱ）

金田平（財団法人日本自然保護協会）

土壌動物を指標生物として、環境の豊かさをはか
 る環境教育プログラム

○安藤康弘（財団法人日本野鳥の会、都立東京

港野鳥公園レンジャー)・古家昌子(東京都中野区立江古田小学校、同公園グリーンボランティア)

市民の手による酸性雨調査とその結果について(第1報)

桂川雅信(日水コン)・○岩田芳美・吉田和子(高津区遊び場調査団)

社会教育における環境教育の実践[地域を結ぶ親子自然・歴史教室]

○亀井尊(千葉経済大学附属高等学校)・伊藤嘉国・寺園雄一(千葉市都賀公民館)

秋吉台カルストにおける草原の維持

庫本正(秋吉台科学博物館)

市民参加の森づくりの施業とリンクさせた利用

中川重年(神奈川林試)

無農薬農産物の利用を柱とした家族ぐるみの環境教育(その2)

石田康幸(埼玉大学教育学部)

健全な森づくりをめざす塩尻森林クラブの活動

○小山泰弘(自然観察指導員)・村井章(塩尻森林のクラブ)

大阪府下一斉どんぐり祭りの取り組みと身近な自然体験へのアプローチに関する実践報告

酒井和子(社団法人大阪自然環境保全協会)

農村部住民の野生動物観一愛知県新城市におけるアンケート調査から

○小倉聡子(愛知哺乳類調査会、日本モンキーセンター)・渡辺修(北海道大学自然保護研究会)

省エネの必要性をいかに実感させるかー猛暑下の太陽熱と電力消費の測定からー

佐藤年緒(時事通信、社会部)

都市住民の自然認識の形成についてー北海道小樽市における市民と自然の関わりー

渡辺修(北海道大学教育学部)

環境教育:持続可能な社会のための教育

原子栄一郎(東京学芸大学附属環境教育実践施設)

環境教育におけるラボラトリーメソッドをもちいた構造化された実習:コンセンサス学習“地球への恩返し”をもちいて

○渡辺隆一(信州大学志賀施設)・川島恵美(臨床心理士)・川島恋志(フリーランス)

環境教育における生態系概念育成の意義に関する基礎的研究

藤田稔・鈴木善次(大阪教育大学)

仏教思想から観る環境教育の展開

山田弘司

環境教育推進におけるパートナーシップの意義

赤尾整志(グローバル環境文化研究所)

分散型電源のコージェネレーションを考える

熊沢峻子(日本環境学会会員)

音環境認識の世代間伝承ー鐘の音の調査からー

大野嘉章(練馬区環境保全課)

地域における環境教育拠点の現状と課題(その4)

佐島群巳(日本女子大学)・○竹沢ゆみ代(日本女子大学大学院)

生涯学習としての環境教育システムの確立に関する研究(その1)ー環境保全活動の環境教育的体系化ー

阿部 治(埼玉大学教育学部)

企業における環境教育

小寺正明(梶谷エンジニアリング株式会社)

5月14日

学校周辺の環境教材の紹介:九十九里平野の自然史から

○宮本明宣(千葉県立立山武農高・生物)・大久保紀雄(千葉県立長生高・生物)

環境教育と環境評価ーアオコの毒性評価をめぐるー

鈴木紀雄(滋賀大・教育)

平塚養護学校高等部での農耕文化基本複合の学習の実践

宮本 透(自然文化誌研究会)

全国大学学園祭におけるごみ排出削減、環境負荷軽減のための取り組み

○伊東真吾(全国青年環境連盟・京都大学)

小中学校教員の森林体験と森林イメージ

榎本博明(名城大学教職課程部)・遠藤良太(千葉県香取支庁産業課)

千葉県香取地域小中学校の森林、林業教育への意

識と教育の森制度への興味に関する現状

○遠藤良太（千葉県香取支庁産業課）・榎本博明（名城大学教職課程部）

学校と家庭、地域社会が連携して進める環境教育

高橋智枝子・○豊島宏明・斎藤平彦・田中憲生・風戸静江・木村せつ子（内田小学校）

ドイツの環境教育から探る学校校庭環境の可能性についての研究

垣瀬 治（自由の森学園）

大阪府での自然観察インストラクター養成講座5年間の取り組みと問題点の考察

高島耕一郎（（社）大阪自然環境保全協会、理事）

都市公園における林床植物園の設置について(1)

○竹林裕子（三井造船北海道支社）・吉中弘介（札幌市役所）・谷口弘一（北海道教育大学附属教育実践研究指導センター）

レプンアツモリソウの生態と組織培養について

○谷口弘一（北海道教育大学附属教育実践研究指導センター）・三浦清（北海道大学農学部）

廃棄物問題と環境教育（その3）容器・包装材を考える

高月紘（京都大学・環境保全センター）

郷土種による環境緑化活動

和田清（信州大学・教育）

規範的な環境教育は成立するか～成人教育としての環境教育へ向けて～

大島英樹（東京大学大学院）

同志から他人へ、そして敵へ～「いじめ」の背景 文明の永続性をめざす教育～その基本理念2

林 智（立命館大学、非常勤）

地域からの発信としての「上野の杜事典」の作成

小川潔（東京学芸大学教育学部）

イギリスの環境教育（その2）

佐島群巳（日本女子大）・○鷹野由希子（日本女子大学大学院）

新たな森林利用と環境教育に関する一考察（Ⅴ）－ 林業普及事業の展開過程と森林教育の模索－

関岡東生（東農大農）

歌詞にみる自然の意識

○鈴木奈津子・関岡東生（東農大農）

自然・人間・環境教育

西本安範（日本アクティブ（株）、21世紀パラダイム開発研究部）

地球環境を考えるためのリモート・センシング・データの利用

○斎藤達也（茨城県立岩井高校）・中山和彦（筑波大学）

初等、中等教育におけるエネルギー教育のカリキュラムに関する研究（その5）－小学校におけるエネルギー教育の教材開発－

佐島群巳（日本女子大学）・○山下宏文（品川区立第二延山小学校）・鈴木真（杉並区立桃井第四小学校）・佐島規（杉並区立杉並第一小学校）・田辺佳伸（府中市立府中第六小学校）・石井恭子（お茶の水女子大附属小学校）・石原淳（保谷市立保谷第一小学校）・竹沢ゆみ代（日本女子大大学院）

初等、中等教育におけるエネルギー教育のカリキュラムに関する研究（その6）－中学校におけるエネルギー教育の教材開発－

高山博之（京都教育大学）・善財利治（佐倉市立白井中学校）・○伊原浩昭（千葉県教育庁）・池田文彦（千葉県現代産業科学館）・伏木久始（文化女子大学附属杉並中、高等学校）・佐藤道幸（お茶の水女子大附属中学校）

総合教科《環境学》～内容について～

○落葉典雄・藤川宣雄・松田正昭・矢野幸洋（奈良女子大学文学部附属高等学校）

総合学習「環境学」～自主活動としてのフィールドワーク～

松本博史・○中道貞子（奈良女子大学文学部附属中、高校）

地球環境学習とコンピューター通信によるネットワークづくり・1

○樋口利彦・木俣美樹男・原子栄一郎（東京学芸大学環境教育実践施設）

地球環境学習とコンピューター通信によるネットワークづくり・2. 生物学、地質学および人間活動を中心に

○木俣美樹男・樋口利彦・原子栄一郎（東京学芸大環境教育施設）

中学理科・分解概念の定着からみた環境教育

○益田裕充（上越教育大学大学院）・戸北凱惟
・大悟法滋（上越教育大学）

子供と母親の環境学習(1)微生物による生ゴミの分解

森忠洋（島根大学農学部）

環境教育における人間研究の重要性についてII— かわりあいの知恵を求めて—

○篠崎恵昭（埼玉大、教育）・西城戸司（埼玉大、理）

ホリスティックな環境教育のフレームワーク

森 良（エコ、コミュニケーションセンター）

NIS：環境教育の評価・分析のための一つの枠組み

林浩二（千葉県立中央博物館）

河川に投棄された空き缶の行方を考える—環境教育の教材として—

半田孝司（常葉学園短期大学）

土壌を使った環境教育(3)—諸外国の教科書に見られる土壌記載とその環境教育的視点—

福田直（埼玉県立自然史博物館）

自然環境観を改善する一方策としての‘環境文化’ 形成の提案

矢内秋生（目白学園女子短期大学 生活科学科）

環境教育講座の実践と意識の分析

塩川哲雄（大阪府立磯島高等学校）

科学館（理工系博物館）における環境教育

竹本裕之（広島市こども文化科学館）

湖沼環境保全のための参加型環境教育プログラムの開発

○永谷真一（（財）科学教育研究会）・小川達
巳（世界湖沼会議市民の会）・原田泰（通産省
工業技術院物質工学工業技術研究所）

環境教育の視点から捉えた日本型河川整備事業の 特徴—全国116のふるさとの川整備事業計画の検討から—

藤岡達也（大阪府立勝山高等学校）

イヤークリーニングに見られた自然音の認知

石井皓（千葉県環境研究所）

飯綱高原に展開する福祉、教育、交流の実践報告 平沢信夫（（学）小山学園 東京テクニカルカ

レッジ 長野教育センター）

モノづくりを通しての環境教育プログラムの実践 ～アースアートプログラム

○佃正寿・松井勲尚（たくみ塾）

古道を歩くことの環境教育的意義

本庄 眞（奈良環境教育研究会、奈良三角点研
究会、東榛原小学校）

地域を舞台にした環境学習システムづくり—水と 緑のまちづくりの一環として—

牛尾 巧（川西市教育委員会学校指導室）

景観に対する人の意識—写真を用いた調査より—

○川村協平・渡辺陽子・山田英美（山梨大学教
育学部）

野生生物保全の意欲はどのように形成されるか？— 調査・観察プログラムと生活体験の影響—

立澤史郎（京都大学理学部）

環境教育としてのエコツーリズム

○山下光子・阿部治（埼玉大学教育学部）

モンテッソーリ教育思想の現代化と環境教育との 接点—「モンテッソーリ、メソッド」における 「環境観」の検討—

高橋正弘（埼玉大学大学院）

幼児教育者養成教科で“環境”をどう紹介してい るか（その3）

近藤正樹（白梅学園短期大学）

学校教育におけるネイチャーゲームの普及の現状 について

○保母禎造（成蹊中学、日本ネイチャーゲーム
協会）・降旗信一（日本ネイチャーゲーム協会）
家庭科における環境への取組み 削減・再使用・
リサイクルを考慮した具体的行動の可能性

矢野郁子（横浜市泉区岡津中学校）

学校と家庭、地域社会が連携して進める環境教育— 学校をコアとした地域社会での取り組み—

麻生正弘・○征矢繁義・鈴木公・小出和茂（内
田の環境を守る会）

感性を重視した環境教育プログラムについて

浦田憲二（武蔵丘短期大学）

簡単な大気の汚れ判定法

○時井純子（久留米市社会部環境保全室）・岩
崎陽子（久留米市立南薫小学校）

「酸性雨」におけるPHの位置とその問題点

原 宏 (国立公衆衛生院 地域環境衛生学部)

環境教育としてのエコミュージアム

○増田直広 (埼玉大学大学院)・阿部治 (埼玉大学)

エコミュージアムの中での生活科教育学の実践—環境教育との関連において—

○小川博久・森茂岳雄・高橋道子・木俣美樹男・樋口利彦 (東京学芸大学)

地球市民育成のための参加型環境教育—学生による手作り学習の実践

○下羽友衛・小泉光・東真由子 (東京国際大学) 社会・文化系の大学環境教育の実践と課題

榎村久子 (奈良文化女子短期大学)

学生・消費者の環境意識調査と環境教育上の若干の考察

○岡部昭二・塚田蒼生子 (金城学院大学)・三品広美 (龍谷大学)

環境教育の教育理念に関する一考察—Erich. Frommを手掛かりとした人間形成の理念構築への試み—
今村光章 (京都大学大学院博士後期課程)

日本にはなぜ環境政党 (緑の党) が育たないのか
山口裕司 (宮崎公立大学)

「大学の一般教育としての環境教育の内容と展開」—
「水をめぐる科学」を中心として—

木谷要治 (横浜国立大学教育学部)

野外活動における自然への倫理観について—アルド・レオポルドの土地倫理から学ぶ—

服部道夫 (日本ネイチャーゲーム協会)

展示 (ポスター) 発表

14及び15日

環境学習支援ソフトウェア「私の家庭・みんなの地球」〈3部作〉の開発とその利用

杉原利治 (岐阜大教育)

本物にふれ学び育つ

星野葉子・青木郁子 (ヤマギシズム地球村実行委員会)

「横浜自然観察の森のプログラムデザイン」

箱田敦只 ((財) 日本野鳥の会 横浜自然観察の森)

景観保全と環境教育

○松山正将・花岡健一・菊地清文・佐伯吉勝 (東北工業大学)

知床伐採問題と森林動態の研究

○久保田康裕・渡辺修 (北海道大学自然保護研究会)

大阪府下での20年にわたるタンポポ調査

藤岡千晶 [(社) 大阪自然環境保全協会]

地球にやさしいライフスタイル—環境NGO (地球の友オランダ) が提起したグローバル・ミニマム—

古沢広祐 (目白学園女子短期大学)

第11回自然観察路コンクールの入選作品と海外からの応募作品の紹介

齊藤三男 (都立日野台高校生物科)

ミニシンポジウム・ワークショップ・自由集会

5月13日

自由集会：「阪神大震災と環境教育」—防災教育と環境教育

企画：日本環境教育学会関西支部 (代表：赤尾整志)

責任者：藤岡達也 (大阪府立大学／大阪府立勝山高校)

自由集会：「阪神大震災と環境教育」—ボランティア活動と環境教育

企画：日本環境教育学会関西支部 (代表：赤尾整志)

責任者：山本幹彦 (京都ユースホステル協会)

自由集会：「阪神大震災と環境教育」—被災者の体験と環境教育

企画：日本環境教育学会関西支部 (代表：赤尾整志)

責任者：谷口文章 (甲南大学)

5月14日

ミニシンポジウム：私たちに何ができるか？—環境教育の方法を求めて—

企画者：徳山郁夫（千葉大学）・松岡信之（国際基督教大学）

パネリスト：阿部 治（埼玉大学）・木原啓吉（千葉大学）・藤村コノエ（有限会社エコ企画）・山西哲朗（群馬大学）

ミニシンポジウム：幼児期の環境教育—幼児期には何が重要なのか—

企画者：近藤正樹（白梅学園短期大学）

パネリスト：近藤正樹（白梅学園短期大学）・山内昭道（東京家政大学）・福井正之（ヤマギシズム学園）・吉川研二（白梅学園短期大学）

ミニシンポジウム：環境教育における“文学”の可能性—“ネイチャーライティング”の視点から—

進行：亀井浩次（名古屋市立若宮商業高校）

パネリスト：上岡克巳（高知大学）・大神田丈二（山梨学院大学）・山本一（金沢大学）・野田研一（金沢大学）

ミニシンポジウム：＜子ども—学校—地域を結ぶ＞学校教育ネットワーク ミニシンポジウム

企画者：田中敏久＜学校教育ネットワーク、関東支部（東京事務局）＞

自由集会：小学校における環境教育の現状

企画者：千葉県環境教育研究会

田島澄雄（千葉市立幸町第三小学校）・伊藤裕志（千葉大学附属小学校）・小原邦夫（千葉市立千城台東小学校）・藤崎貞廣（千葉市立真砂第五小学校）

パネリスト：伊藤裕志（千葉大学付属小学校）・小原邦夫（千葉市立千城台東小学校）・藤崎貞廣（千葉市立真砂第五小学校）

ミニシンポジウム：「大学における環境教育の方法論」

主催：大学環境教育研究会〔幹事代表：和田 武

（愛知大学）〕

コーディネーター：下羽友衛（東京国際大学）・白砂洋志夫（上智大学）・内山弘美（東京大学院生）

パネリスト：杉原利治（岐阜大学）・瀬本正之（上智大学）・高山 進（三重大学）

自由集会：大学環境教育研究会・自由集会「共感から行動を生む授業を創るには何が大切なか」

世話人：和田武（愛知大学）・下羽友衛（東京国際大学）・白砂洋志夫（上智大学）・内山弘美（東京大学院生）

ミニシンポジウム：学生による環境教育への取り組み

企画者：渡部智暁（筑波大学大学院環境科学研究科）

ミニシンポジウム：冒険—環境教育における実験—コンピューターネットワークを通じて—

企画者：岩谷美苗（自然文化誌研究会）・大前純一（ワールドスクールジャパン）・田中富代（エコクラブ）

ワークショップ：森から学ぶプログラム アースアート

企画者：○佃正寿・松井勲尚（たくみ塾）

ワークショップ：展示の見方・作り方ワークショップ

企画者：榎本友好・川村研治・小林毅・鈴木直子・長岡滋雄・箱田敦只・萩原裕作・林浩二・日置佳之・平松葉子・森美文（ネイチャーセンター研究会）

ワークショップ：「アジアと環境教育」

企画者：上田啓子・大島順子・小菅盛平・竹内一雅・林浩二・原田泰・○森良（アジア環境教育フォーラム準備委員会）